（様式３）目的設定表（ 令和03 **年度）　予算区分：**通常　　**要求区分：**令和 3年度当初追加　　**確定日（**令和03 **年** 02 **月** 08 **日）**

事業ｺｰﾄﾞ	04060212			**政策コード**	04	**政 策 名**	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略				
事 業 名	国内定期航空路線緊急支援事業			**施策コード**	06	**施 策 名**	交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築				
				指標コード	02	**施策目標(指標)名**	空の玄関口を生かした国内外との流動の促進				
部 局 名	観光文化スポーツ部	**課 室 名**	交通政策課	**班名**	調整・広域交通班	**(tel)**	8601282	**担当課長名**	小松勝統	**担当者名**	湊谷晃清

評　価　対　象　事　業　（　計　画　）　の　内　容　　**事業年度**　令和03**年度**　～　令和03**年度**

１．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)

コロナ禍によって本県の国内定期航空路線の利用者は大幅に減少しており、路線維持・拡充に向けた速やかな対応を取る必要がある。大館能代空港は、羽田発着枠政策コンテストによって令和２年５月に追加の発着枠の配分を受けており、本来であれば３往復運航が可能なところ、コロナ禍の影響で１往復運航にとどまっていることから、早期の３往復運航の実現に向けて、２往復運航を支援し、その定着を図る必要がある。

２．住民ニーズの状況

①ニーズを把握した対象

□ 受益者　　■ 一般県民　　**（時期：** R02 **年** 08 **月）**

②ニーズの把握の方法

■アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □インターネット

□ その他の手法　　**（具体的に　　）**

③ニーズの具体的内容

令和２年度県民意識調査における「重要課題として県に力を入れて欲しいこと」として「鉄道や航空・地域交通などの整備」が50項目中12番目（12.7%）となっている。

◎把握してない場合の理由及び今後の方針

①理由	
②今後の方針	

３．事業目的（どういう状態にしたいのか）

新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が大幅に減少している国内定期航空路線を運航する航空会社に対して支援し、本県の航空ネットワークの維持・拡充を図る。

（重点施策推進方針との関係）　● 重点事業として要望　○ その他事業として要望

４．目的達成のための方法

①事業の実施主体	県
②事業の対象者･団体	航空事業者
③達成のための手段	大館能代空港における東京羽田線の２往復運航に必要な経費への支援

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性

２往復運航の実施に向けた支援により、大館能代空港を利用した首都圏との日帰り利用が可能となるなど利便性が高まることから、利用増につながることが期待でき、そして、関係市町村等と一体となって利用促進等を図ることで、２往復運航の定着、その先の３往復運航の実現につながることが期待できる有効な事業である。

５．事業の全体計画及び財源　　**単位(千円)**

順位	**事 業 内 訳**	**左　の　説　明**	**03年度**	**04年度**	**05年度**	**06年度**	**07年度**	**08年度**	**全体(最終)計画**
02	大館能代空港東京羽田線２往復化支援事業	大館能代空港における東京羽田線の２往復運航に必要な経費等の一部を支援する。	15,000	0	0	0	0	0	15,000

財源内訳	**左　の　説　明**						
国 庫 補 助 金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	15,000	0	0	0	0	0	15,000
県　　債		0	0	0	0	0	0	0
そ　の　他		0	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源		0	0	0	0	0	0	0

６．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	大館能代空港において２往復運航が復便・定着し、航空ネットワークが維持される。

指標Ⅰ

指標名	大館能代空港の運航便数	指標の種類
指標式	翌年の夏ダイヤにおける大館能代空港の運航便数	●成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
目標a			6					6
実績b	4	6						
東　北								
全　国								

②データ等の出典

航空会社による航空ダイヤ

③把握する時期　● 当該年度中03月　○ 翌年度　　月　○翌々年度　　月

指標Ⅱ

指標名		指標の種類
指標式		○成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
目標a								
実績b								
東　北								
全　国								

②データ等の出典

③把握する時期　○ 当該年度中　　月　○ 翌年度　　月　○翌々年度　　月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

航空ネットワークを維持していくためには、コロナ禍によって当面厳しい経営状況にある航空事業者の負担を軽減するとともに、利便性の向上を図っていく必要があることから妥当である。

住民ニーズに照らした事業の必要性

県民意識調査によれば、航空や鉄道等の交通ネットワークの整備に対するニーズは高く、妥当である。

事業の県関与の必要性

□ 法令・条例上の義務　□ 内部管理事務　□ 県でなければ実施できないもの

■ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

航空路線は、県民の移動を支える社会基盤であるのみならず、県外からの誘客による域内消費の創出や交流人口の増加など、県全体にとって社会・経済的に不可欠であることから、県が積極的に関与する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	○重点事業　○その他